

自然も経済も持続可能、そんな社会を創りたい

『環境と産業の調和から有明海の再生に向けて』

鹿島モデルの構築

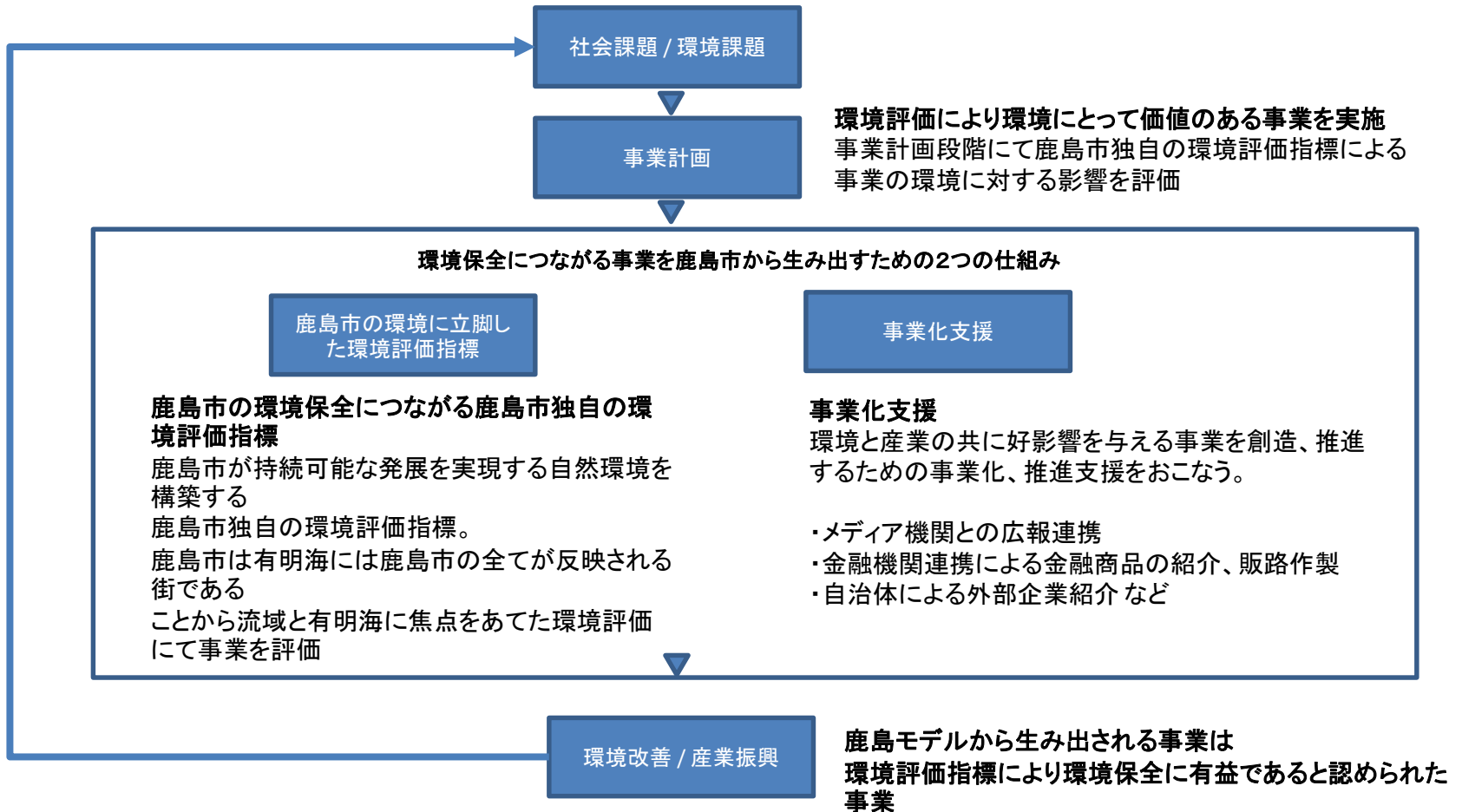
鹿島市ラムサール条約推進協議会の取組

2022.08.10 鹿島市役所ラムサール条約推進室
室長補佐 江島 美央



鹿島モデル

鹿島市の環境保全につながる事業を生み出し鹿島市の環境と産業を元気にする。
環境と産業の調和から有明海の再生を目指す。



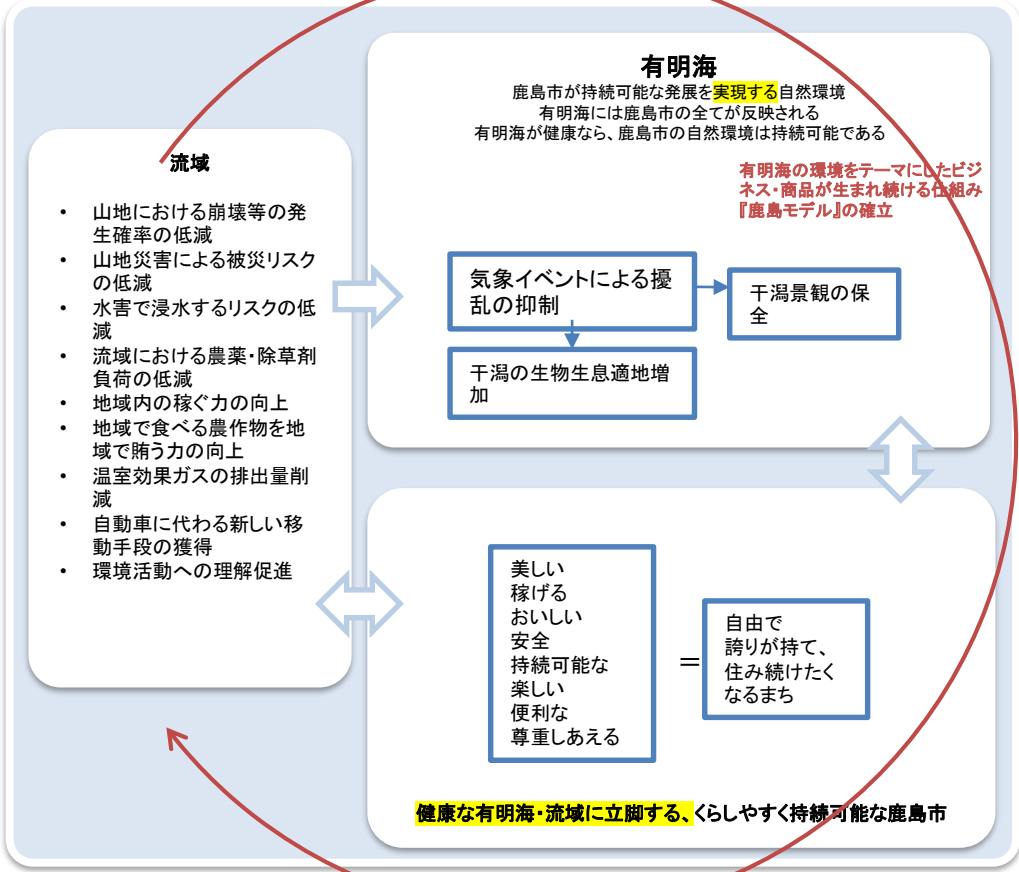
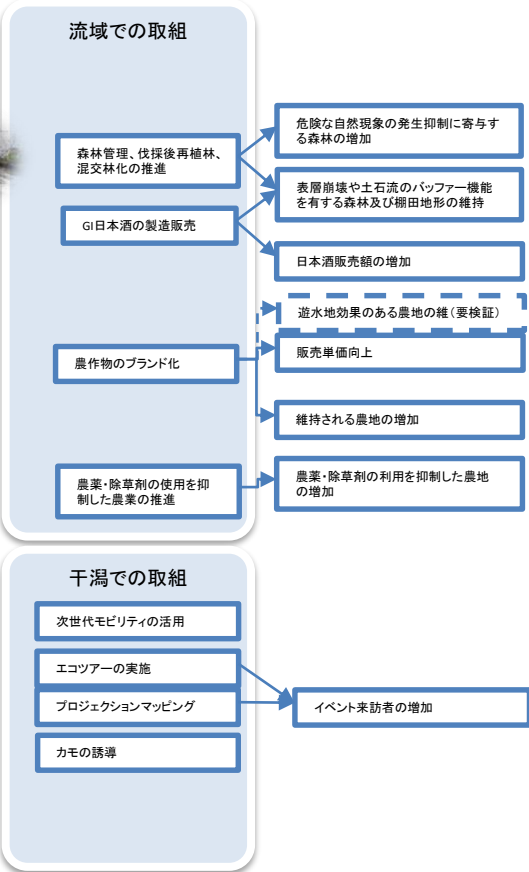


インプット

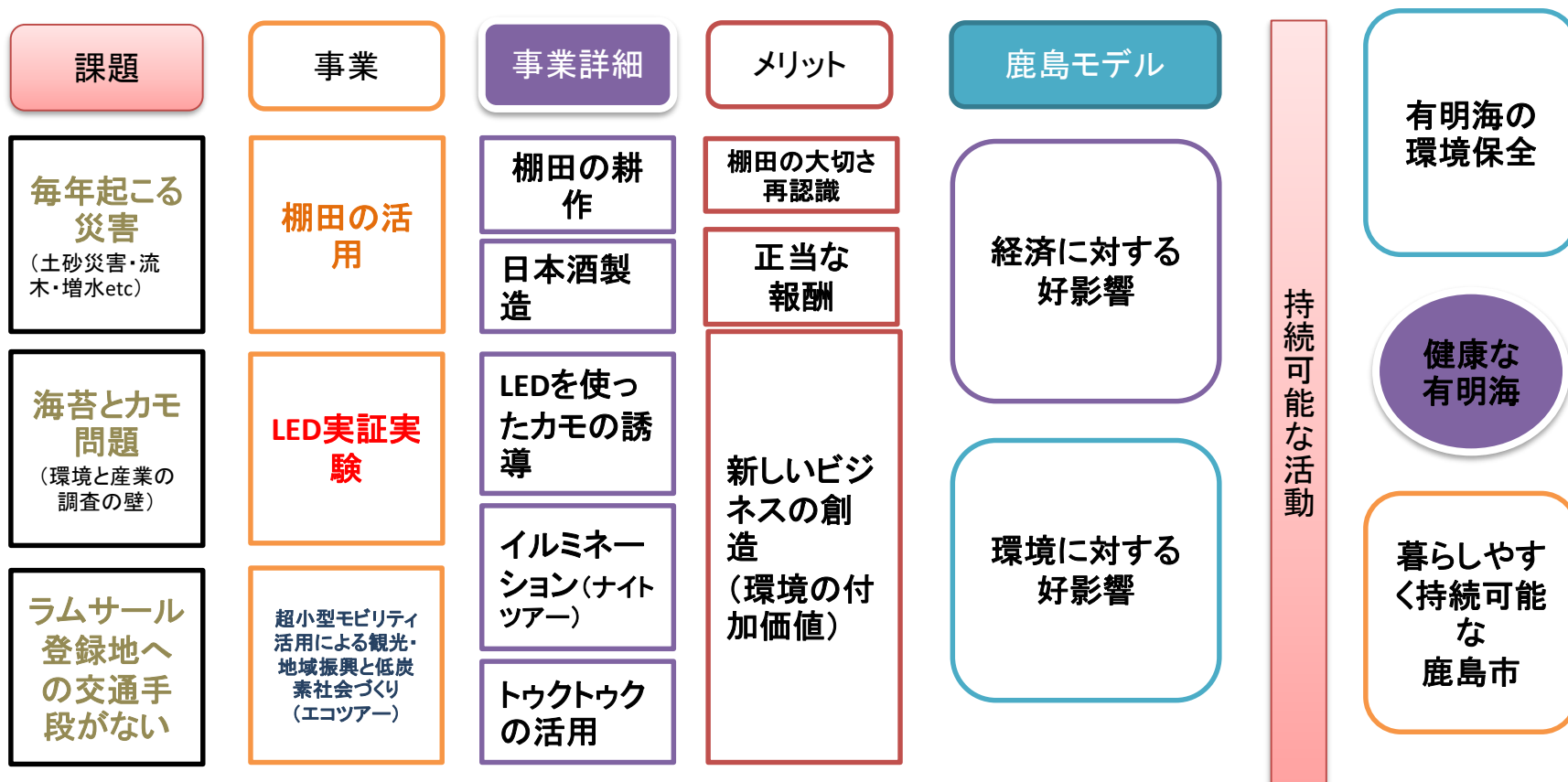
アクティビティ

アウトプット

アウトカム



R3 鹿島市ラムサール条約推進協議会の取組 (企業説明資料)



令和4年度 企業と連携して課題を解決

- 令和4年4月時点 肥前鹿島干潟SDGs推進
パートナー 60団体
- 5/26 SDGs研修
- 課題の共有⇒課題解決に協力してくれる企
業の公募
- 年度末 SDGsの達成状況の評価⇒フィード
バック
- 令和5年 アワード

事例1 鹿島の災害×棚田の荒廃



グリーンインフラとは？

グリーンインフラとは、自然の持つ多様な機能を活用したインフラや土地利用を推進する概念。環境保全に留まらず、防災・減災や地域振興といった要素の重なる部分を、自然の機能を活用したインフラである、グリーンインフラが担う。



棚田の機能

棚田を維持することで得られる効果

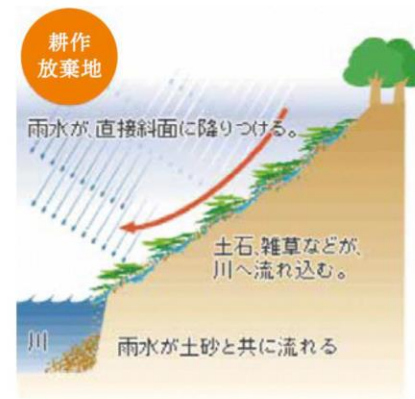
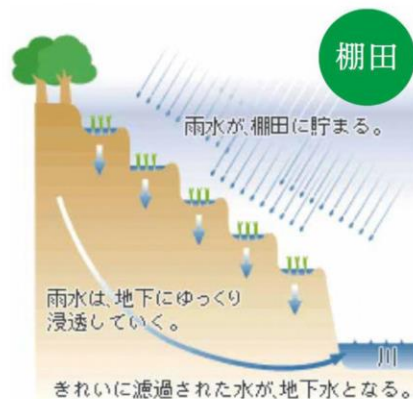


【流域への影響】

- ①山地災害による被災リスクの低減
- ②水害で浸水するリスクの低減

【有明海への影響】

- ①干潟の景観が守られる
- ②干潟の生き物を守り育てる



このまま棚田が荒れていけば、災害リスクの増加につながる。



グリーンインフラとしての付加価値をつける上での
科学的評価、地域の自然を活かしたストーリー作りや商品企画



中山間地域の棚田
二毛作がサフランという異色の田



矢野酒造・馬場酒造



棚田米でお酒を作り、
その酒粕・ワラ・みかん粕・海苔のハネモノを
みかん荒廃園の放牧牛のエコフィードに。





北鹿島地区の水田

平時



災害時～自然ダムの役割～



グリーンインフラ日本酒 3年後の鹿島も守る酒 〜ごえん〜

グリーンインフラ日本酒

馬場酒造場のイメージは「伝統」、
矢野酒造のイメージは「革新」。
同じモチーフでありながら
まったく違う味わいが楽しめます。

3年後の鹿島も守る酒
〜ごえん〜



約 予 付 受 中

鹿島市ラムサール条約推進協議会では、毎年起こる災害から「森里川海干潟」を守るため自然環境を活かした地域づくりを行っています。今回、肥前鹿島干潟SDGs推進パートナーの「矢野酒造株式会社」と「有限会社馬場酒造場」の協力により、棚田米やラムサール登録地付近の米を使った日本酒が完成しました。

事例2: 酒造りで出た産廃 ✕ 酒蔵ツーリズムで使う大量のプラカップ



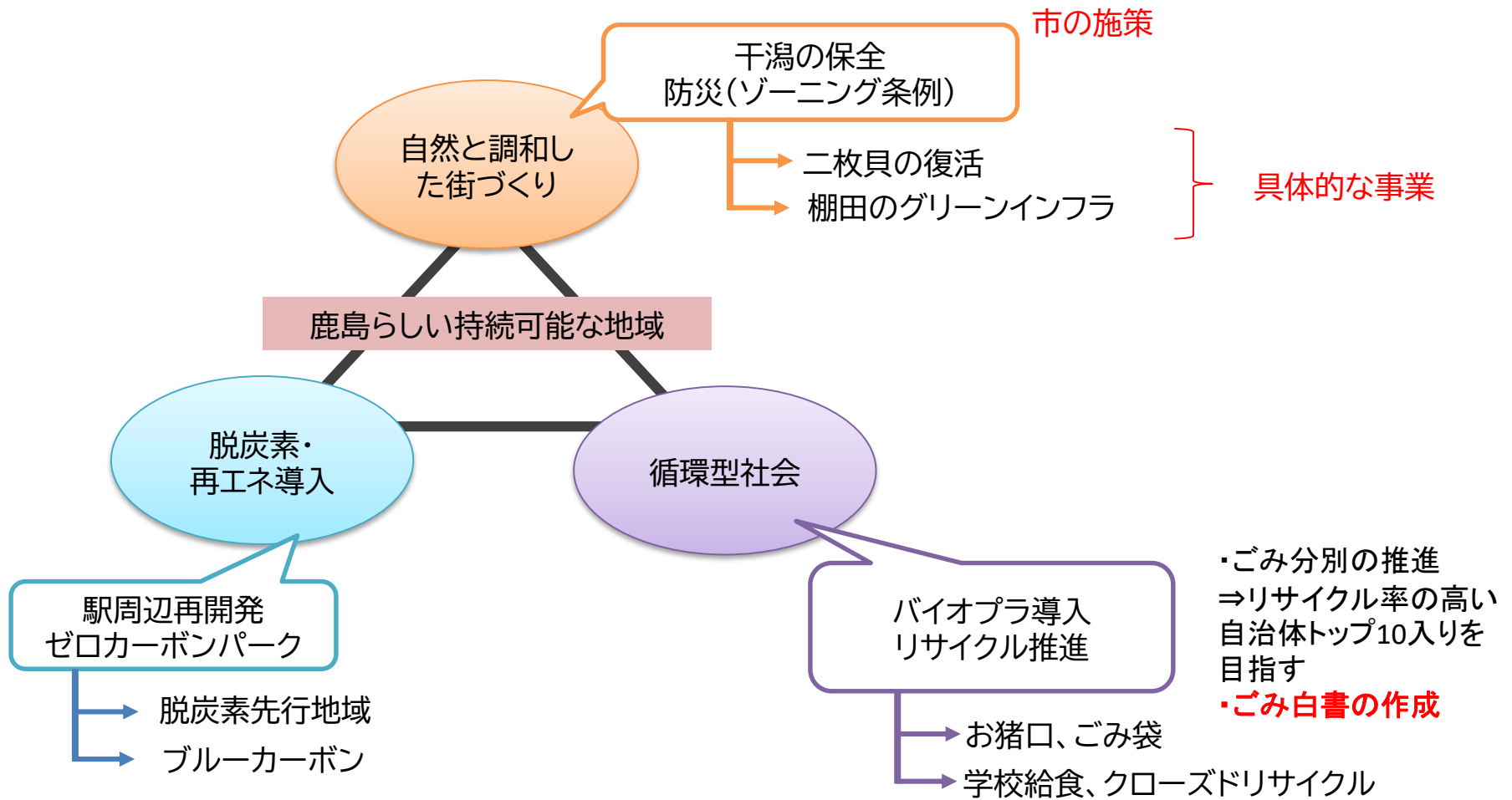
バイオマスレジンホールディングス(新潟) ✕
矢野酒造・馬場酒造

事例2 波及効果

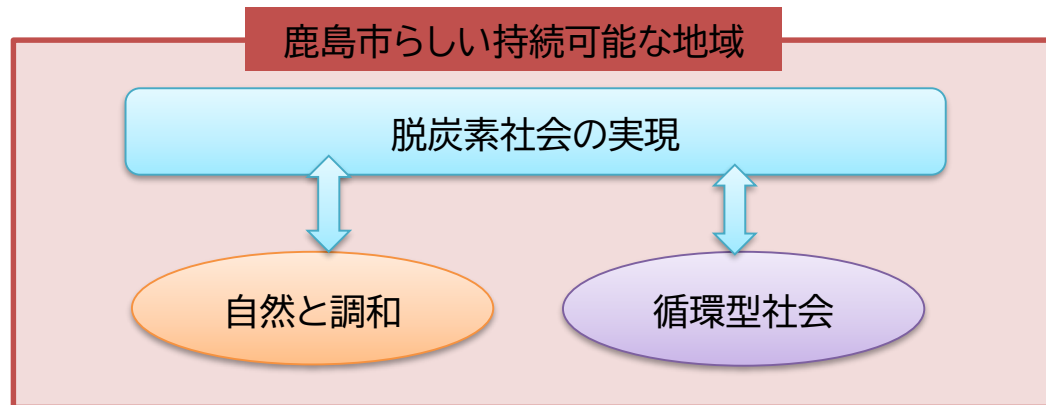
- 上記1・2からの波及効果
 - ⇒黒粕やイノシシの背脂を高級化粧品に
 - ⇒クローズドリサイクル
 - ⇒飼い主のいない猫のクラファン

地域の課題解決と経済発展

鹿島市らしい脱炭素社会の構築



干潟発電からブルーカーボンへ



宣言に入れるキーワード

- ・地域循環共生圏の構築
- ・再エネゾーニング(導入促進、利用促進、保全地域)
- ・脱炭素先行地域(駅再開発、ゼロカーボンパーク)
- ・再エネ種(太陽光、小水力・・・)
- ・サーキュラーエコノミー(クローズドリサイクルの促進)

宣言の裏にある
具体的なプロジェクト

- 公共施設の再エネ導入(PPA、ESCO、リバースオークション)
- 再エネ導入と保全の調和(導入規制の条例と促進エリアの設定)
- 棚田GI
- ブルーカーボンと干潟保全
- バイオプラ・クローズドリサイクル、お猪口、ボランティア袋(バイオマスレジン)
- 再エネエリアをつなぐモビリティ(EV化、グリスロ)